



御船祭り



発行所
穂高神社社務所
創刊 昭和52年2月
〒399-8303
長野県安曇野市穂高6079
電話 0263-82-2003
FAX 0263-82-8770

例祭

9月26、27日例祭「御船祭り」が斎行されました。本年は天候に恵

まれ、また土曜日、日曜日でもあり大勢の参拝者が訪れました。穂高人形が飾られた御船が新しい神楽殿を周り、ぶつけあつ大人船の勇壮豪快な姿に力メラをむけていました。

奥宮例祭

上高地が色鮮やかに染まりはじめる10月8日、明神池畔奥宮例祭が斎行されました。

神事後、龍頭鑄首りゅうとうちゅうしゅの御船2艘が明神池を一周する「御船神事」を行いました。色染まる山々と雅楽が響き渡る雅な風景を見ようと多くの参拝者が訪れ賑わいました。例祭後、日本アルプス遭難者慰霊祭をご遺族参列のもと行いました。

また、前日の7日には本宮南神苑にあります日本アルプス遭難者慰霊歌碑前にて登山案内人、ご遺族らが参列し慰霊祭を行いました。

※御船神事

昭和26年に龍頭鑄首の2艘の御船が進水される。御船は平安朝の頃、上流社会で盛んに用いられたもので、龍は水を渡るに最も速きもの、鵜(う)は風に耐ゆるに最も強きものとされ、万物の安鎮、天下泰平を祈りつつ御幣を保持し明神池を一周する。

氏神さま

お正月には初詣、子供が授かれば安産祈願、赤ちゃんが誕生した報告と無事生まれたことへの感謝、健やかなる成長を祈るお宮参り。着物を着て健やかな成長を願う七五三参り、厄年にはお祓いを受けるなど、昔から人生の節目節目にお参りする、身近にある神社です。氏神さまは住んでいる地域を守り、日々の生活などを見守り、助け導いてくださる存在です。

安曇野市穂高、等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区の氏神さまは穂高神社であります。この区域にお住まいの方ももちろん氏子であります。移り住まれた方も、遠い祖先から氏神さまにお守りいただいている感謝の気持ちを含めて、お参りしてはいかがでしょうか。

毎年9月26・27日は氏子の協力によって曳き出されるお船、神社の森に笛太鼓が鳴り響く「お船祭り」があります。



御船神事



●全国天満宮梅風会
御一行様 正式参拝

去る6月3日、学問の神様菅原道真公(天神様)を祭る全国の神社で組織する「全国天満宮梅風会」第49回総会が深志神社にて行われ、翌4日に



全国天満宮梅風会会長・太宰府天満宮宮司・志賀海神社宮司代務者であります西高辻信良様を始め会員124名様が当社に参拝されました。当社境内に菅原社があり本年より梅風会の会員となりました。

●大東亜戦争終結70年
靖國神社秋季例大祭参列

靖國神社は10月17日から20日まで靖國神社秋季例大祭日が行われ、18日の当日祭に参列致しました。祭典には各界の著名人、ご遺族約700名の参列がありました。午前10時の太鼓の合図と共に徳川康久宮司以下祭員が参進、国歌斉唱の後、國學院大學吹奏楽部の演奏にて祭典が始まりました。10時30分、勅使として山田春掌典ご参向の下、天皇陛下より

賜った幣帛を神前に捧げられ祭典が粛々とい行われました。

また、拜殿前は祭典開始前より参拝者の列が途絶えることなく続き、御霊の安泰、平和への祈りを捧げました。

各祭典行事



大祓式	平成27年12月31日	午後3時
除夜祭		午後11時30分
元旦祭	平成28年1月1日	午前零時
節分祭	2月3日	午後4時
奉射祭	3月17日	午後3時
秋葉社宵祭	3月23日	午後8時
本祭	3月24日	午前10時
勸学祭	3月27日	午前11時
末社祭	4月8日	午前10時
厳島社宵祭	4月17日	午後8時
本祭	4月18日	午前10時
穂高霊社宵祭	4月19日	午後8時
本祭	4月20日	午前10時
菅原社宵祭	4月24日	午後8時
本祭	4月25日	午前10時

節分豆まき

平成28年 年男・福女募集

来る平成28年2月3日午後4時に行われる節分祭の豆まきに、ご奉仕いただける方を募集いたします。ご希望の方は、神社までお知らせ下さい。

◎参加料…5,000円

神楽殿より福豆(景品付き)福銭をまきます。

皆様の御参拝をお待ちしております。

第30回「秘めたる穂高の工芸作家
二十人展」のお知らせ

安曇野穂高が世界に誇る漆芸家、故高橋節郎先生を生んだ穂高に在住する工芸家の銘品を展示し、大変好評を得ておりますこの展覧に是非お越しください。

日程 1月1日～3日

午前9時～午後4時30分

場所 穂高神社 参集殿

三九郎 一月十一日

●午後1時頃より餅つき、餅つき終了後点火。お餅は、おしるこお雑煮にして振るまいです。

新春祈願・交通安全祈願大祭のご案内

新しき年を迎え 感謝と祈りをこめて…

今年もあとわずかととなり、何かと気ぜわしい時期をお迎えのことと存じます。

今年には、各地で地震や火山活動の活発化に加え、九月には爆弾低気圧の影響で全国的に激しい風雨災害が多発した年であり、また身近では自転車走行による事故が増え、罰則強化がはかられた年でありました。

日本人は太古より自然現象全てに神を感じて崇拜し、人々の心は魂として敬い、和を持って生活を営んで参りました。その上に今日の発展があると言っても過言ではありません。

穂高神社では、便利な世の中に先人への感謝を捧げつつ、車とともに歩む暮らしが安らかで豊かなものでありますよう祈つて参ります。穏やかな年明けとともに、使用されているお車一台一台を丁寧なお祝いによる交通安全と穂高神社の御加護のもと新たな活力と願ひ事の成就をお祈りにお越し頂きますよう謹んで新春祈願大祭のご案内を申し上げます。

一、期間 一月一日～八日(受付九時～十六時)

一、内容 交通安全、家内安全、事業繁栄、商売繁盛、厄除、八方除、試験合格、学業成就、病氣平癒、身体健全、開運招福、心願成就、安産、お宮まいり、初誕生祝い、災難除、職場安全、子宝、良縁祈願、夫婦円満、歩行安心、お礼参り、人形供養、もののけの祓、他願ひ事。

一、祈禱料

- 普通祈禱 五、〇〇〇円
追加祈禱 三、〇〇〇円
特別祈禱 一〇、〇〇〇円
追加祈禱 七、〇〇〇円
交通安全祈禱 一台につき 五、〇〇〇円
普通祈禱 (二台目から三、〇〇〇円)

特別祈禱

- 一台につき 六、〇〇〇円
(二台目から三、〇〇〇円)

厄除・八方除の特別祈禱祭のご案内

平成28年厄年を迎える方、八方褻りの方はお祓いをお受けになり、大神様のご加護のもと平穏無事でお過ごし下さい。

厄年・やくどしと十三参り

古来より厄年は人生において心身の節目や責務の重き時期で事故、病氣、災難など障害の起きやすい年廻りとされ、十三参りは干支が一巡することから子供から成人となる節目とされています。

厄年一覽表(数え年)

Table with columns for gender (女性, 男性), age (e.g., 61歳, 37歳), and year (前厄, 本厄, 後厄).

高齡の厄年(数え年)

産まれた年の干支がもとの干支に戻ることを長寿の祝とした60歳の翌年が通常の厄年の最後であることから、現代では長寿祝を迎えた年(古希70歳・喜寿77歳・傘寿80歳・米寿88歳・卒寿90歳)の翌年が高齡の厄年となります。

Table for '男女とも' (Both genders) showing ages and birth years (e.g., 91歳, 昭和15年生).

厄除・八方除の特別祈禱祭は 1月9、10、11、15、16、17日に肅行致します。

平成二十八年 一番祈禱のご案内

「ひとりひとりが受けられる成就の縁起!」

年明け午前0時の時報とともに、初春のよろこびを神様にお告げし、天下泰平をお祈りする歳旦祭にひき続いて、新年の一番祈禱を肅行致します。

そんな多くの願いを必ず叶えていただけるよう、新年の巫女舞を加えた一番初めに一度しか行われぬ大変貴重な御祈禱です。

御祈願内容のすべての願いを込めて御祈禱致します。

一、祈禱料 一〇、〇〇〇円

お申し込みは、電話・ファックス・メールにてご予約下さい。

当日申し込みの方は、31日午後11時より受付致します。ご予約済の方は午後11時45分に拝殿授与所までお越し下さい。尚、ご参列不可能な場合は御神札等郵送致します。

【八方塞り:はっほうふさがり】

九星は人間の運勢や吉凶の判断に用いる九つの星のことで、九星年盤の中央に入る星を本命星といいます。

本命星にあたる方が八方塞りの年で、周囲八方ふさがれ、八方どの方位方面に向かっても不吉な結果を生じ障害があり、手の打ちようのない不安定な年廻りとされています。

九星年盤 平成28年 八方ふさがりの方(二黒土星・男女)

■男・女八方塞りの年まわり表 数え年

Table showing birth years and ages for '二黒土星' (Two Black Earth Stars).



崇敬会通信

去る9月6日(子供祭の日)、第6回総会が開催され、会員30名の出席を賜りました。議事はすべて満場一致にて可決頂きましたこと、衷心より御礼申し上げます。

崇敬会新入会員

(平成27年5月1日～平成27年10月31日まで)

名誉会員

相戸 孝敏
キッセイ薬品工業株

法人会員

(有)奥上高地 横尾山荘
水壁の宿 徳澤園

個人会員

藤本 洋子	金澤 信也	後藤 正博
小川 正人	高橋 隆太	杉山 晃一
尾関 英一	戸田 博	小林 憲和
沢目 光江	河端 善寛	氏原 健嗣
池田 淳	野久保博三	

会員種別入会金(年会費)

- 一、個人会員 3,000円
- 一、法人会員 5,000円
- 一、名誉会員 10,000円

◎特別会員

2,000円
穂高神社氏子(安曇野市穂高 等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区在住)に限る

崇敬会研修旅行

白山比咩神社を特別参拝し、加賀百万石の城下町 金沢を散策に参加して

梅雨の6月24・25日と崇敬会研修旅行に参加させて頂きました。両日とも好天に恵まれ汗ばむほどの陽気の中、初日は世界遺産の白川郷荻野集落を見学し、茅葺き屋根の大きさに圧倒された伝統的建築物を残す大切さを感じました。昼食を頂きバスは金沢へ。全国三千余社の白山神社の総本宮である白山比咩神社を特別参拝させて頂きました。遊神殿で欄干さんから説明と、ヒノキの香りが残る一体化した拝殿、弊殿を案内して頂きました。拝殿正面奥には30段の木階登廊で結ばれた御本殿があるそうです。そこでの巫女さんの剣の舞はまるで本物の剣を振り下ろしているかのような迫力と優雅さでありました。境内には白山山頂の奥宮を拜む遥拝所があり、白山三山の形をした大きな岩がどっしりと鎮座しておりました。参集殿を廻り込むように奥へ進むと涼しい音がしてきます。見上げるほど高い屋根の奥の方から滝が流れて来ている視場でした。本来は体を清める場所ですが、水遊びをしたいと思っただけでしょうか。また今度、是非白山頂上の奥宮に参拝したいと思いました。

周囲の石垣はいつ見ても圧倒されます。その後、昼食は金沢の市民の台所として馴染みの近江市場で海の幸が山盛りの海鮮丼を頂きました。市場では、新鮮な魚介類が所狭しと並び、平日にも関わらず人で溢れていました。最終目的地は国の重要伝統的建造物保存地区であるひがし茶屋街です。タイムスリップしたような古い路地裏を歩いていると、どこからともなく三味線の音が聞こえてきました。この空間は古き良き時代を思い出させてくれる数少ない場所なのでしょう。

この旅行で、日本の伝統に触れ、改めて日本の先人の築いた遺産に感謝したい気持ちになりました。白川郷の茅葺き屋根は現在の法律では防災の問題等でなかなか街中では再現できないのですが、自然の素材のみを使い、気候風土を考慮したあの見事なまでの集落は世界中の人々の知恵等、様々な感情をもたらすに違いないと感じました。石川門の石垣に限らず、城壁などに使用される石積みはどれを見ても美しいものであります。これも日本の古くから伝えられてきた伝統工法で、現代ではそんな職人さんも姿をけしつづつあります。新しいものが日々生れている時代だからこそ、日本人の知恵が生み出した古き良き物を見直す時間を作っていただければと今回の旅行を振り返って感じました。(山本)

